

第 13 節 連結送水管

問 1 連結送水管の立管が 2 以上ある場合は、ループ方式にする必要はあるか。
また乾式としてもよいか。

答 1 必ずループ方式とすること。
ループ方式でないものにあっても必ず湿式とすること。

問 2 止水弁（ゲートバルブ）及び逆止弁（チャッキバルブ）の設置位置について。

答 2 両方設ける場合は、送水口側から順番に逆止弁、止水弁とすること。
また、ドレン管は必ず設けること。ただし、容易に点検できる場合は止水弁を省略してもよいが、配管がループ式の場合は省略することは不可。（メンテ時に他の送水口を使用するため）

問 3 送水口の圧力表示は必要か。

答 3 下図のプレートを設置指導すること。

送水圧力 ○○ Mpa
○ F 0.6 Mpa

- * 赤地に白文字
- * 大きさはおおむね
横 300 mm×高さ 100 mm以上
- * 材質はアクリル板

問 4 スケジュール管の使用について。

答 4 設計送水圧力が 1.0MPa 以下となる防火対象物についても、規則 31 条第 1 項第 5 項（ロ）に規定する 1.0MPa を超える場合について用いなければならない管を使用すること。（sch40 等）

問 5 11 階以上の放水用器具格納箱の設置方法について。

答 5 ・12 階以上の建築物

11 階以上の各階に、40mm ホース×2 本・クアドラフオグノズル×1 本・媒介金具（65mm 差込メス×40mm 差込オス）1 個を格納すること。

・11 階建ての建築物

11 階に、40mm ホース×4 本・クアドラフオグノズル×2 本・

媒介金具（65mm 差込メス×40mm 差込オス）2 個を格納すること。

また、各格納箱の扉に格納資機材の内容の旨を表示すること。

問 6 スタンド型送水口を植栽内に設置する場合について。

答 6 送水口を容易に視認できるように土間打ちすること。

問 7 送水口を地階（避難階）に設置する場合の放水口の設置位置について。

答 7 実態に応じ、送水口の設置階から 3 層目以上に設置すること。

ただし、送水口の位置が 2 階以上の階（避難階）の場合は、基準とおり 3 階から設置すること。

問 8 放水口の設置位置について。

答 8 原則階段付近に歩行距離 5 m 以内に設置すること。

5 m を超える場合や容易に視認できない場合は、階段付近に放水口の設置位置を明記したプレートすること。材質はアクリル板で可。

問 9 連結送水管の設計送水圧力について、上限はあるか。

答 9 設計送水圧力は 1.4MPa 以下となるようにすること。

※現在、本市の消防ポンプ車は A-2 級以上を導入しており、その性能は 1.4MPa 以上であるため、